

熊本 S.J.C.D.例会 抄録

日時：2011年11月22日

演題：高齢者の審美修復治療

発表者：小坪義博

key word

1. 高齢者の特徴を考慮した無歯顎・多数歯欠損症例のインプラント療法
2. 高齢者の骨条件を踏まえた、外科的負担の少ないインプラント植立法
3. 咬合機能の回復に焦点を絞った、無歯顎・多数歯欠損対応のインプラント補綴
4. マグネットデンチャーの優位性

抄録

近年、無歯顎症例や多数歯欠損症例特有の条件から、義歯の維持や安定が得られず、咀嚼障害に悩んでいる高齢者の患者が多く見られます。

そこで機能回復を図るためインプラント治療を選択することが進んでいます。メンテナンスが重要なインプラント治療において、高齢者が容易にメンテナンスが出来ないのは致命的と考えられます。

高齢者社会が進む世の中において、今後寝たきりの方も増加すると予想されます。そこでメンテナンスが容易にできるオーバーデンチャーの設計は有効であり、もし介助の方がメンテナンスをすることになっても安心であると考えられます。

今回、無歯顎および多数歯欠損症例において、少ない本数で最大限の機能回復をはかるための治療計画、手術術式、補綴設計、臨床応用の注意点、メンテナンス等を提示させていただきます。